

第 4 期基本計画下の「地球観測等事業の進捗状況のフォローアップ」について

1. 総合科学技術会議による地球観測の推進

長期継続的に実施する基盤的研究の充実の観点から、総合科学技術会議は、「地球観測の推進戦略」（平成 16 年 12 月）の策定により、特に気候変動、地球規模水循環、生態系研究の研究基盤となる地球観測の充実に関する 10 年程度の我が国の戦略的取組とその具体的な方策を取り纏めました。

第 3 期科学技術基本計画では、この推進戦略で示された利用ニーズ主導の統合された地球観測システムの構築と、その地球環境問題の解決や自然災害の低減等の有用な情報として社会に提供するという基本的な考え方に基づいて我が国の地球観測が実施されました。

第 4 期科学技術基本計画の中では「グリーンイノベーションの推進」の「社会インフラのグリーン化」で、地球観測は「社会的・公共的インフラとして、地球観測等から得られる情報の多様な領域における利用を促進する」と位置付けられたことで、推進戦略の基本的な考え方は継続されています。

2. 第 3 期科学技術基本計画における地球観測事業のフォローアップ体制

「地球観測の推進戦略」では、「総合科学技術会議は、地球観測の実施方針とそれに基づく事業の進捗状況について科学技術・学術審議会からの報告を受けるとともに、必要に応じて関係府省・機関からも報告を受けて総合的な評価を行うこと等により、統合された地球観測システムの運用状況をフォローする」と、総合科学技術会議、文部科学省、実施機関の役割分担が記されています。

すなわち、図-1 に示すように、文部科学省 科学技術・学術審議会 地球観測推進部会が年度毎に実施方針と実施計画立案し、それに基づいて関係府省・機関が地球観測事業を実施し、その結果を総合科学技術会議がフォローアップし、地球観測推進部会はその指摘を次年度に活かすという体制が整えられました。

第 3 期科学技術基本計画では、科学技術専門調査会 環境プロジェクトチームがフォローアップを実施しました。

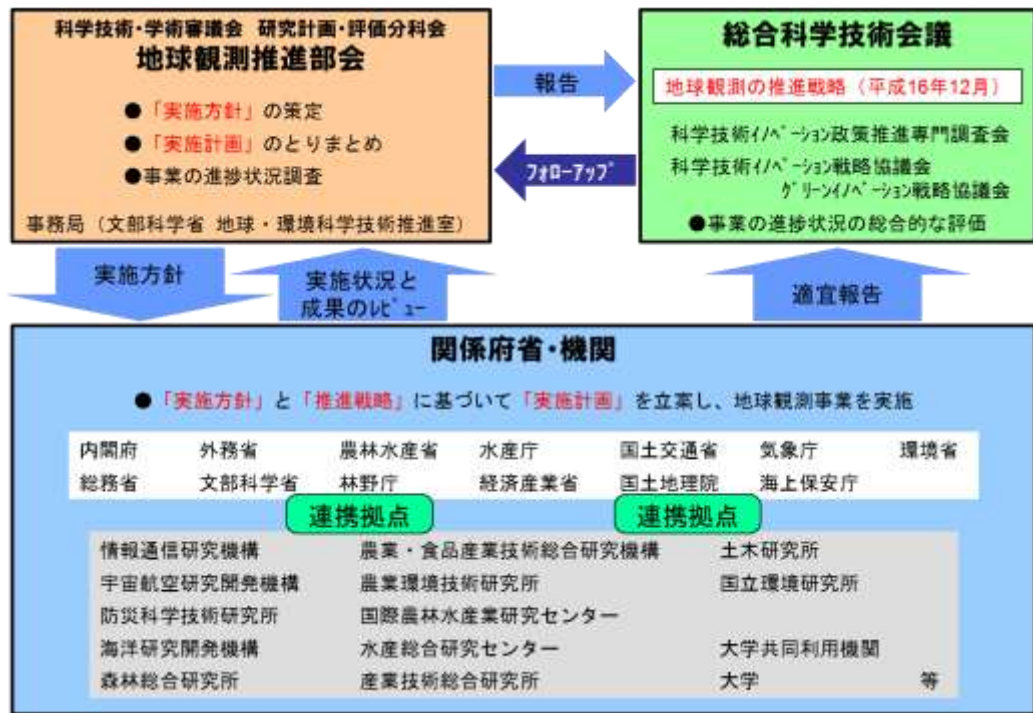


図-1 「我が国における地球観測の実施計画」に基づく地球観測等事業の推進体制

3. 第4期科学技術基本計画における地球観測事業のフォローアップ体制（案）

第4期科学技術基本計画の推進のために新たな体制が生まれ、これまでフォローアップを担っていた環境プロジェクトチームは終了しました。総合科学技術会議としては、重要な研究基盤である地球観測事業の長期的な継続性を担保するためにも、平成23年度の地球観測事業の進捗状況のフォローアップを実施する必要があります。

第4期科学技術基本計画では、地球観測事業はグリーンイノベーション「社会インフラのグリーン化」に位置づけられています。また、既に平成23年度科学技術重要施策アクションプランでは「地球観測情報を利用した社会インフラのグリーン化」、平成24年アクションプランでは「社会的・公共的インフラとしての地球観測、予測、統合解析システム」として重点的な取組とされています。

従って、地球観測事業全般のフォローアップを行うことは、H23年度アクションプランのフォローアップを行うことになり、地球観測事業が位置づけられている「社会インフラのグリーン化」で行うのが相応しいと事務局では考え、戦略協議会にこの件を提案致しました。

4. 具体的なフォローアップ作業と日程（案）

- 6月4日 第2回グリーンイノベーション戦略協議会
地球観測事業フォローアップ実施の承認。担当委員の選任。
- 6月11日頃 委員の意見集約。
フォローアップ（案）作成。各省意見照会。最終調整。
- 6月27日頃 最終案確定
- 7月2日 第3回グリーンイノベーション戦略協議会へFU結果を提出。
戦略協議会承認。
- 7月6日 文部科学省 科学技術・学術審議会 第5回地球観測推進部会へ提出。報告。
総合科学技術会議の指摘を踏まえた実施方針と実施計画を審議。